花鏡、四季若四季生筍、幹節長而圓、取爲樂器、聲中管籥、若生山石者、音更清亮可人、○略中

肥後ニアリ、甚寒氣ヲ畏ル、竹質慈竹ノ如ク、節高シ、脆シテ剛勁ナラズ、葉數少シテ大ナリ、方竹葉ニ似テ幅廣ク、深綠色ニシテ小箬葉ノ如シ、四時共ニ筍ヲ生ズ、慈竹ノ筍ノ如シ、近年肥後ヨリ移栽ユ、兩三年ニシテ枯タリ、惜ベシ、

〔古今要覽稿草木〕臺明竹　青葉笛竹

臺明竹一名大妙竹、一名大名竹は、古名を青葉笛竹、一名二葉笛竹、或はその二字を略して、たゞ笛竹ともいひ、漢名は四季竹、一名四時竹といふ、此竹古より大隅國囎唹郡清水郷臺明寺山中に產す、○中略予○屋代弘賢が往時本多甲馬より惠まれしを家にひめしは、其竹長節竹に似て、徑一寸許にて、節間相去る事一尺五六寸、其節低きことまた長節竹の如し、今江都に有物は、その高さ一丈五六尺、圍み三寸餘、その根上より二三節はその節密にして、その間相去る事三四寸、それより以上は節疎なること、八九寸より或は一尺五六寸に至る、また地上の第一二節には、周圍に細小根連なり出て、頗る方竹の如もあり、此竹始めの枝は三枝或は五枝なりといへども、中幹より以上は、すべて七八枝を叢生し、それに籜付て、年を經ておちず、葉は全く長節竹に似て、細長にして、大低八九葉を一朶とす、此筍大隅國に產する物は、四時を期して生出るといへども、江都に移し植るものは、夏月のみ最盛なるは、まさに風土の寒暖によりての事なりといへり、されども今江都にある物は、予がひめ置し竹とは、更に別種の物なりとおもはる、

〔毛吹草三〕薩摩　大名竹子四季共ニ有ト云

〔和爾雅七草木〕鳳尾竹泉州府志云、俗呼觀音竹、

鳳尾竹

〔大和本草九竹〕鳳尾竹　俗呼觀音竹、泉州府志出、本邦ニモアリ、葉ヒロク、竹小ナリ、綱目ニ所謂鳳尾竹、葉細三分、與此異、